

名張市総合計画

理想郷プラン

後期基本計画【地域別計画編】

2013(平成25)年度 ～ 2015(平成27)年度



福祉の理想郷づくり



ごあいさつ

名張市では、「人間尊重を原点に、自立と支え合いでつくる福祉の理想郷」をまちづくりの基本理念として、地域と行政が互いの役割と責任を自覚しながら「新しい公」を確立するとともに、力を合わせて心豊かで質の高い地域社会を築き上げるまちづくりを進めています。

これまでの取組を振り返ってみますと、平成15年に第1ステージとして、従来の補助金を「ゆめづくり地域交付金」に改め、地域が自由に予算を編成して執行するシステムを作り、おおむね小学校区を単位としたまちづくり活動をスタートさせました。次に、第2ステージとして平成21年には、従来の区長制度を改め、地域の組織を一元化するなど、地域づくり体制の整備を進めてまいりました。さらに、第3ステージとして平成24年3月には市内15の全ての地域づくり組織において、地域の将来像を描いたまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定していただきました。

この「地域ビジョン」の主な内容を行政計画に位置づけ、地域と行政が協働して地域づくりに取り組むため、このたび総合計画の地域別計画を策定しました。

平成25年度からは計画の推進を図るため「ゆめづくり協働事業提案制度」を新設し、地域の特性を生かした個性あるまちづくりを促進することとしています。多様な主体が協働してまちづくりに取り組む「新しい公」の更なる推進は、名張躍進に向けての大きな土台づくりとなるものと確信しています。地域別計画に描かれた将来像を実現するため、地域住民の皆さまと力を合わせ、ともに汗をかきながら進めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年3月



名張市長 亀井 利克

目 次

○ はじめに	……	1
○ 地域別計画		
1. 名張地域	【名張地区まちづくり推進協議会】	… 4
2. 鴻之台希央台地域	【中央ゆめづくり協議会】	… 6
3. 蔵持地域	【蔵持地区まちづくり委員会】	… 8
4. 梅が丘地域	【川西・梅が丘地域づくり委員会】	… 10
5. 薦原地域	【薦原地域づくり委員会】	… 12
6. 美旗地域	【地縁法人 美旗まちづくり協議会】	… 14
7. 比奈知地域	【ひなち地域ゆめづくり委員会】	… 16
8. すずらん台地域	【すずらん台町づくり協議会】	… 18
9. 錦生地域	【地縁法人 錦生自治協議会】	… 20
10. 赤目地域	【赤目まちづくり委員会】	… 22
11. 箕曲地域	【箕曲地域づくり委員会】	… 24
12. 百合が丘地域	【一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会】	… 26
13. 国津地域	【国津地区地域づくり委員会】	… 28
14. 桔梗が丘地域	【桔梗が丘自治連合協議会】	… 30
15. つつじが丘地域	【つつじが丘・春日丘自治協議会】	… 32
○ 参考資料		
・ 地域まちづくり活動の経過	…	34
・ 地域づくり組織の事務所一覧表	…	35

はじめに

1. 地域別計画策定の趣旨

名張市は「暮らしのまち」を視点に、恵まれた水と緑の自然環境や、先人が築いてきた豊かな歴史・文化、さまざまな都市機能などの財産を生かし、名張の最大の財産である市民一人ひとりが、自立と参加を基本に、生きがいを持って暮らし続けていくことで、誰もが真の幸せを実感できるまちの創造を目指し、「豊かな自然と文化に包まれ、誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまち」を将来都市像と定めています。

市は、将来都市像を効果的に実現していくために、7つのリーディングプランを定め重点的な取組を進めており、その一つとなる「地域づくり推進プラン」では、地域が自立し、地域の課題は地域で解決する住民自治を基本として、地域づくり活動が活発に展開されるよう、地域予算などの支援制度や人材育成を進めています。

また、地域の特性を生かして個性ある地域づくりが各地域で展開され、地域と行政が協働してその実現を目指すために、『地域ビジョン（構想）』の策定を推進し、平成24年3月には市内15の全地域で『地域ビジョン』が策定されました。

市は、各地域で策定されました『地域ビジョン』を最大限尊重した行政計画となる「地域別計画」を策定します。

2. 地域別計画の位置づけ

地域別計画は、名張市総合計画として位置づけ、後期基本計画（地域別計画編）とします。

3. 地域別計画の計画期間

本計画の計画期間は、現行の総合計画との整合を図り、次のとおりとします。

- 計画期間：2013（平成25）年度～2015（平成27）年度の3か年

4. 部門別・分野別計画との関係

今後、各部局にて部門別（分野別）計画を策定、改訂する場合は、現行の施策の展開を示した計画に加え、地域別計画とも整合を図ることとします。

5. 地域別計画書の計画内容

本計画書の内容については、計画期間を考慮し地域の特性を示すとともに、総合計画の「基本構想・基本計画」にあたるまちづくりの目標（将来像）、方針を定めることとします。

6. 地域設定の考え方

名張市地域づくり組織条例第5条第1項に基づく地域づくり組織の区域を、ひとつの地域として設定します。

《地域名及び区域》

地域名	区 域
名張	桜ヶ丘、平尾、丸之内、中町、上本町、柳原町、鍛冶町、本町、新町、南町、豊後町、木屋町、元町、榊町、栄町、松崎町、朝日町、上八町、東町
鴻之台希中央	希中央1番町～希中央5番町、鴻之台1番町～鴻之台5番町
蔵持	蔵持町里、蔵持町原出、蔵持町芝出、緑が丘東、緑が丘中、緑が丘西
梅が丘	大屋戸、松原町、夏秋、短野、下三谷、梅が丘南1番町～梅が丘南5番町、梅が丘北1番町～梅が丘北5番町
薦原	薦生、八幡、西田原、鶴山、家野、葛尾、さつき台1番町、さつき台2番町
美旗	新田、美旗中村、東田原、上小波田、下小波田、西原町、南古山、美旗町池の台東、美旗町池の台西、美旗町中1番～美旗町中3番、美旗町南西原、美旗町藤が丘
比奈知	下比奈知、上比奈知、滝之原、富貴ヶ丘1番町～富貴ヶ丘6番町
すずらん台	すずらん台東1番町～すずらん台東5番町、すずらん台西1番町～すずらん台西4番町
錦生	黒田、結馬、井手、安部田、矢川、上三谷、竜口
赤目	赤目町丈六、赤目町相楽、赤目町檀、赤目町柏原、赤目町星川、赤目町一ノ井、赤目町長坂、赤目町新川、赤目町すみれが丘
箕曲	夏見（横内の区域を除く。）、瀬古口、箕曲中村、中知山
百合が丘	夏見のうち横内の区域、青蓮寺、百合が丘東1番町～百合が丘東9番町、百合が丘西1番町～百合が丘西6番町、南百合が丘
国津	神屋、奈垣、布生、長瀬、上長瀬
桔梗が丘	桔梗が丘1番町1街区～桔梗が丘8番町5街区、桔梗が丘南1番町1街区～桔梗が丘南4番町1街区、桔梗が丘西1番町、桔梗が丘西2番町1街区～桔梗が丘西6番町2街区、桔梗が丘西7番町
つつじが丘	つつじが丘北1番町～つつじが丘北10番町、つつじが丘南1番町～つつじが丘南8番町、春日丘1番町～春日丘7番町

※地域名については、一部町名を省略して表示しています。

《地域割図(概略図)》



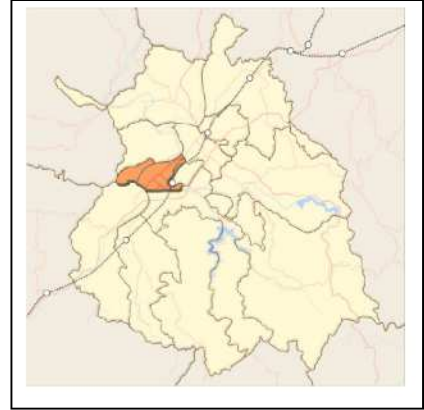
1. 名張地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

名張地域は、名張藤堂家邸跡や江戸川乱歩生誕地、初瀬街道のまち並み、やなせ宿などの「歴史資源」や、長い歴史の中で育まれてきた愛宕の火祭りをはじめとする各地区の祭礼などの「伝統行事」、さらには築瀬水路やまちを包むように流れる名張川、外周に広がる山々といった「自然資源」など豊かな地域資源を数多く有しています。

古くから市の中心市街地として、また、生活文化拠点としてその役割を担ってきたものの、近年は商業の空洞化、少子高齢化により活気や賑わいが薄れている傾向にあります。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【名張地区まちづくり推進協議会】

○人口総数 6,512人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：3,141人

・女：3,371人

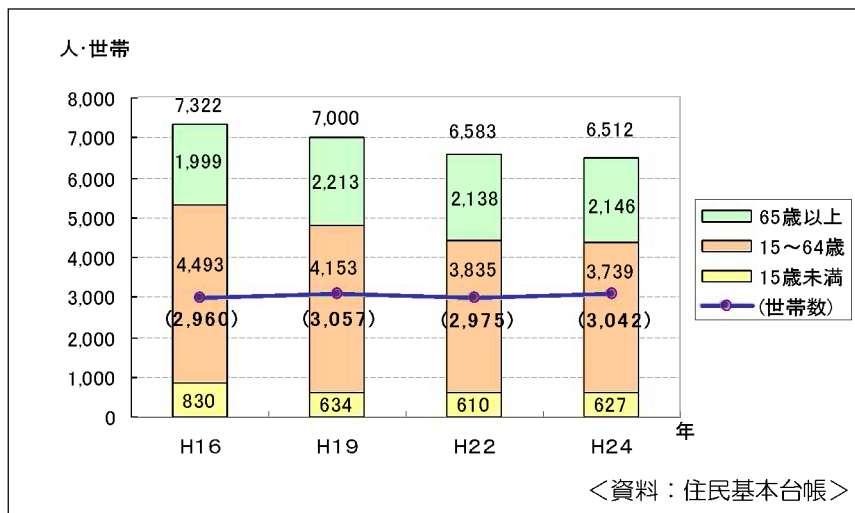
・15歳未満 : 627人

・15歳～65歳未満 : 3,739人

・65歳以上 : 2,146人（うち75歳以上 1,163人）

○世帯数 3,042世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち」

さまざまな地域資源があり名張のまちの原風景を形づけています。こうした名張らしさが輝き、まちの再生により市民共通の財産「まちの顔」となるよう、また、誇りと愛着、人情あふれ、多くの市民が集い交流し憩えるまちを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○地域文化や歴史資源を活かしたまちづくり

名張藤堂家邸、江戸川乱歩生誕地、やなせ宿等の歴史的・文化的景観資源を多く有することから、ネットワーク化をはじめそれらを生かした調和のとれた魅力あるまちづくりを推進します。また、景観資源として築瀬水路の活用、まち並みの修景などを進め、文化の薫りを生かした集客交流を目指します。

○豊かな自然を大切に散策したくなるまちづくり

築瀬水路や名張川、外周に広がる山々など水と緑に囲まれた自然環境にあるため、それらを大切にした名張地域らしい景観を大切にしたまちづくりを推進します。

○活気あふれた賑わいのあるまちづくり

地域住民、商工業者、市民活動団体等と協働して、生活環境の整備や地域福祉の充実を図り、暮らしと地域の伝統文化、地域商業等が結びついた活力ある住みよいまちづくりに取り組みます。また、地域資源を生かしまちの魅力を高めるとともに、交流拠点としての活気とにぎわいを再生する取組を進めます。さらに名張駅周辺については、名張市のイメージを印象づけるまちの顔にふさわしいシンボル性の高い都市空間を創造し、多様な人々が集う交流拠点として機能の充実を図ります。

○人と人が支えあい楽しく暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉、教育、防災等に関わる諸活動に取り組みます。

○若人に夢と希望を与えるまちづくり

若者と高齢者の世代間交流の場やまちづくり活動による人材育成、伝統文化の継承など、次世代へつながるさまざまな取組を推進します。



2. 鴻之台希央台地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

鴻之台希央台地域は、市の中央部に位置し、土地区画整理により大規模な開発が行われ、住宅地や商業施設用地等が整備された新しい地域であり、名張地域とともに名張市のイメージを印象づける新しい「まちの顔」です。市道名張駅桔梗が丘線や市道東町中川原線沿いを中心に大型の物販店や飲食店等が出店し、市街地としての賑わいが感じられます。また、名張駅に隣接しており半径 1km 圏に市役所、消防署、警察署、中央公園、図書館等の行政・業務・情報交流等都市機能が集積している地域でもあります。



鴻之台地区は入居後25年を経過しているものの、希央台地区は造成後3年の新しい地区であるとともに、両地区で構成される鴻之台希央台地域も地域づくり組織として位置づけられてから日が浅く、地域コミュニティとしての絆や成熟が課題となっています。

《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【中央ゆめづくり協議会】

○人口総数 2,361人 (平成24年10月1日現在)

(内訳)

・男：1,242人

・女：1,119人

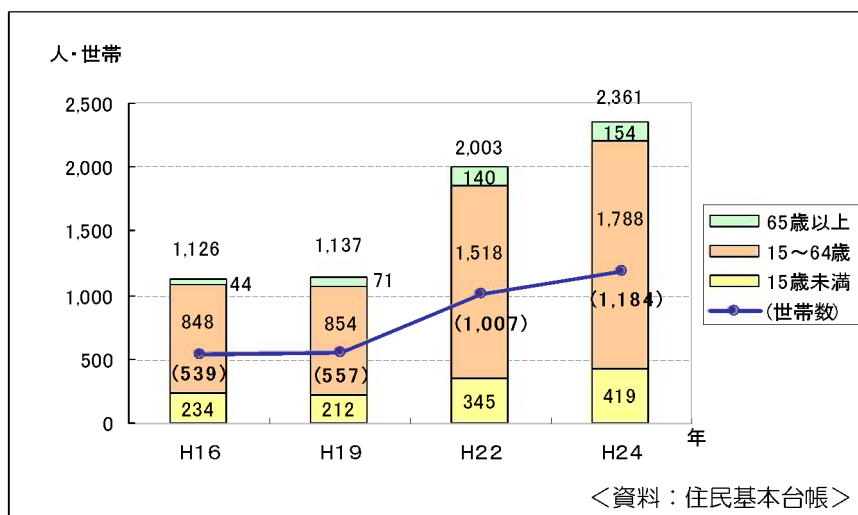
・15歳未満 : 419人

・15歳～65歳未満 : 1,788人

・65歳以上 : 154人 (うち75歳以上 66人)

○世帯数 1,184世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ (各年10月1日現在)



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「みんながつどい、いつまでも住み続けたいまち」

市の中心部に位置し名張市の行政・業務・情報交流等の都市機能が集積した新しいまちです。行政・商業の「顔」だけでなく、緑あふれる都市居住空間として、誰もががつどい、いつまでも住み続けられるまちを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○安全で快適な環境の絆を育むまちづくり

省資源・省エネルギーや資源の有効活用に取り組むとともに、安全で快適な環境整備を図ります。

○支えあい安心の福祉の絆を深めるまちづくり

誰もが安心して暮らせるように、交流の場づくりや支えあいの仕組みづくりに取り組みます。また、地域コミュニティとしての成熟度が高められるよう進めます。



○自助共助、助け合い、安全の絆を高めるまちづくり

地域における自助・共助の仕組みづくりや自主防災活動等の防災にかかる取組を図ります。また、安全、安心を確保するために活動する自主的な組織づくりや地域ぐるみの防犯活動を進めます。

○集う、憩う、ふれあう、交流の絆を広げるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが、集い、ふれあえるような場づくりや絆づくりの取組を図ります。

○地域力を活かして未来への絆をつなぐ創造のまちづくり

地域の特性を生かした地域での諸活動について、協働、連携を図っていきます。また、広域的な行政・業務・情報交流の拠点として位置づけ、都市サービスなど多様な都市機能の集積や緑あふれる都市型居住環境の整備など、機能的で質の高い都市空間の形成を目指します。

3. 蔵持地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

蔵持地域は、市の中央部に位置し、美しい田園風景に囲まれた農村集落と良好な住宅地を形成している緑が丘のほか、産業の拠点である蔵持工業団地や三ツ池工業団地、小売店舗や飲食店が立ち並び国道の沿道、武道交流館「いきいき」など、さまざまな地域特性を併せ持った地域です。また、国道165号や国道368号が交差する市の交通の要衝でもあります。

さまざまな地域特性をもち多様な土地利用がなされていることから、秩序ある土地利用が課題となっています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【蔵持地区まちづくり委員会】

○人口総数 3,515人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：1,716人

・女：1,799人

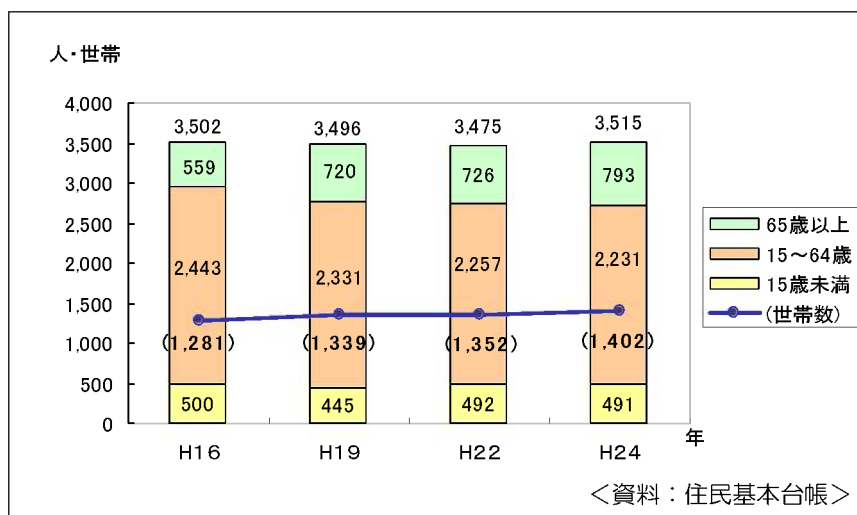
・15歳未満 : 491人

・15歳～65歳未満 : 2,231人

・65歳以上 : 793人（うち75歳以上 325人）

○世帯数 1,402世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「都市機能と緑あふれる田園風景が共存するまち」

美しい田園風景に囲まれた農村集落や産業拠点となる工業団地等さまざまな地域特性を併せ持った地域です。都市的な機能を持ち合わせることでより緑あふれる美しい田園景観が失われることなく共存できるまちを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○健康で生き生きらせるまちづくり

誰もが健康で生き生きと暮らせるよう、健康づくりの機会を提供するとともに、各世代や世代間、地域内での交流が図れるようにいろいろな場づくりや取組を進めます。

○歴史と文化のまちづくり

初瀬街道、神社仏閣、地蔵尊等をはじめ歴史的な文化資源を生かしたまちづくりを推進します。また、地域住民のニーズにあった活動やいろいろな機会を通し、文化芸術活動など心を豊かにする取組を進めます。

○安全、安心の出来るまちづくり

誰もが安全で安心して暮らせるように、自主防災活動や災害時における要援護者への支援活動、迷惑駐車禁止にかかる啓発活動など、地域ぐるみの活動を進めます。

○環境に優しいまちづくり

自然環境保護や住環境整備にかかる各種活動に取り組みます。また、地産地消の推進や効率的かつ安定したコミュニティバスの運行を図るなど、生活しやすい環境づくりを進めます。



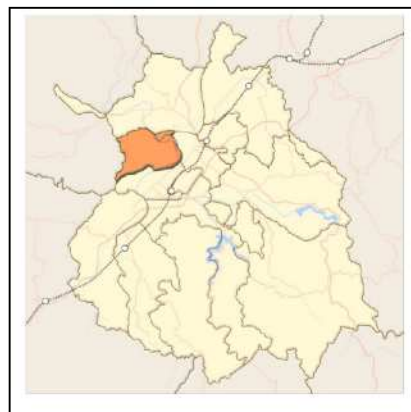
4. 梅が丘地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

梅が丘地域は、市の中西部に位置し計画的に整備された大規模住宅地の梅が丘地区と、その周辺に広がる農村集落の川西地区で構成されています。周辺には緑豊かな里山や山林が広がっており自然が身近に感じられる地域である一方、名張川を挟み中心市街地につながっており、都市的機能へのアクセスにも恵まれています。

また、川西地区は1,300年以上の歴史のある地区である一方、梅が丘地区は入居が始まって25年の新興住宅地であり、コミュニティの歴史や成熟度、人口構成等に違いがあることから、双方の特性を生かした地域コミュニティとしての熟成が課題となっています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【川西・梅が丘地域づくり委員会】

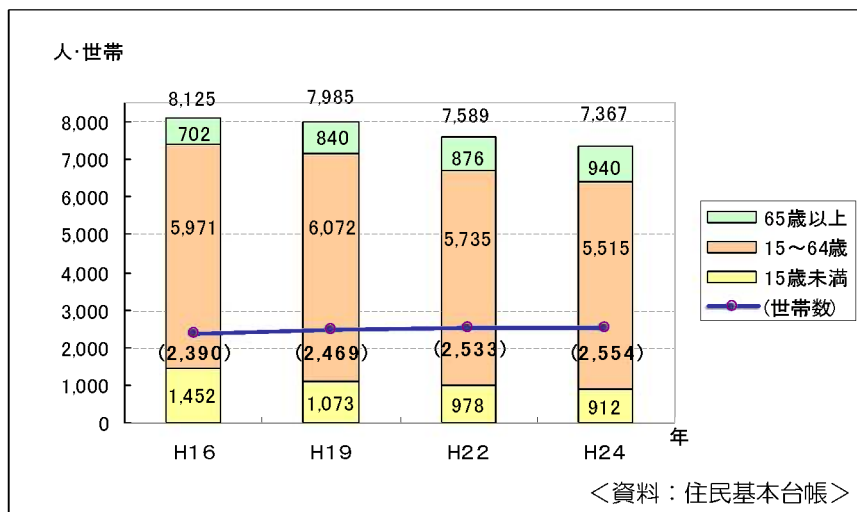
○人口総数 7,367人 (平成24年10月1日現在)

(内訳)

- ・男：3,636人
- ・女：3,731人
- ・15歳未満 : 912人
- ・15歳～65歳未満 : 5,515人
- ・65歳以上 : 940人 (うち75歳以上 438人)

○世帯数 2,554世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ (各年10月1日現在)



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「安全、安心、ふれあい、友愛の住みよいまち」

誰もが安全で安心して住みやすいまち、また、地域内や世代間でのふれあいにより市民が集い交流し憩えるまちを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○元気、賑わいのまちづくり

地元農産物の地産地消活動の展開など地域活性化につながる取組を推進します。また、地域の資源や人材を活用したコミュニティビジネスなどの取組を進めるとともに、地域内の公共施設や未利用の公共用地などの有効活用を図ります。

○地域資源を生かしたまちづくり

地域の歴史、文化を学ぶ機会や地域への愛着を育むために、地域での散策会や講座等の活動に積極的に取り組みます。また、誰もがスポーツに親しめるよう地域での各種取組を進めます。

○美しく住みよいまちづくり

地域の個性を生かした緑化、環境美化活動など身近なまちづくりの取組を通して、地域内交流を進めるとともに、ボランティア組織の育成を図ります。

○安全・安心のまちづくり

誰もが安全に安心して暮らせるように、自主防災体制の充実・強化に取り組むとともに、地域ぐるみの防犯活動に取り組みます。また、災害時要援護者支援制度の充実を図るなど、地域での各種活動をもとに地域の絆づくりを推進します。

○いきいきと暮らせるまちづくり

誰もがいきいきと暮らし続けられるよう、高齢者や子どもが集える場づくりや、高齢者等への日常生活支援など地域で取り組む各種活動を推進します。



5. 薦原地域

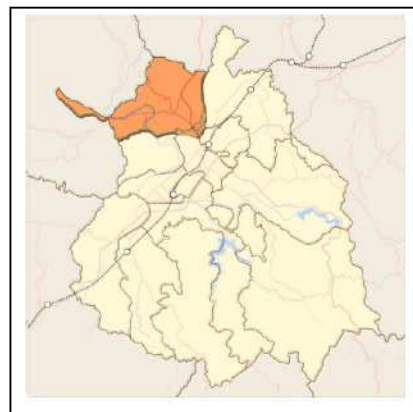
1. 地域の特徴

《現状と課題》

薦原地域は、市の北西部に位置し、古くから開けた農村集落と新しい住宅地、そして市内最大規模を誇る八幡工業団地から構成されています。

地域の大半を山林と田園が占め、高塚山をはじめ四季折々に美しい姿をみせる山々を背景に、左岸の堤には、春には桜、秋には彼岸花が咲き乱れ、清らかな流れと潤いをもたらす名張川や、その優れた環境の証として生息する蜚や天然記念物のギフチョウ、また、国・県・市指定の文化財を有し西国薬師第三十六番霊場でもある弥勒寺など、次世代に引き継ぐべき貴重な資源があります。

農業の担い手不足による耕作放棄地の発生や農作物に対する鳥獣害など、農林業を取り巻く課題が深刻化しています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【薦原地域づくり委員会】

○人口総数 2,105人 (平成24年10月1日現在)

(内訳)

・男： 995人

・女：1,110人

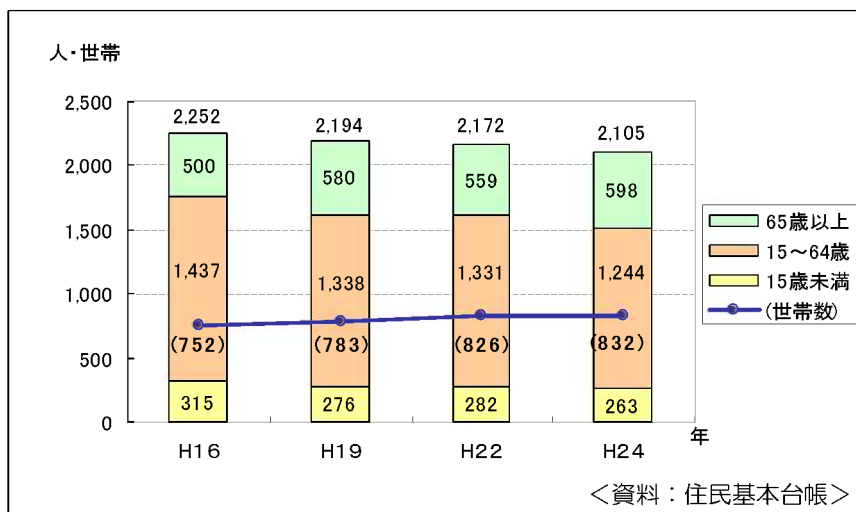
・15歳未満 : 263人

・15歳～65歳未満 : 1,244人

・65歳以上 : 598人 (うち75歳以上 273人)

○世帯数 832世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ (各年10月1日現在)



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「やすらぎのふるさと薦原」

～わたしたちのきずなでつむぐ、安心・安全・安住の里づくり～

住民の交流や助け合いによる「ひとづくり」を通して、誰もが暮らし続けたいと感じる魅力ある「やすらぎのふるさと」の創造を目指します。

《まちづくりの基本方針》

○快適な道路環境の形成

事業の必要性や効率性を勘案しながら、日常生活を支える地域内道路の維持管理や広域幹線道路の整備促進などを計画的に進めるとともに、廃棄物不法投棄への対策や通学路の安全確保を進めるなど、快適な道路環境の形成に取り組みます。

○親水空間の創造

古くから桜の名所として親しまれている名張川の堤の日常管理を行い、環境保全や景観形成に取り組みます。また、河川環境学習の場として活用するなど、水辺空間の有効活用に取り組み、親水空間の創造を目指します。

○薦原公園の拠点性向上

多くの住民が気軽に利用できる交流拠点として施設や周辺環境の点検を行い、魅力ある公園づくりに取り組み、地域の活性化につなげます。

○地域資源の育成

森林、里山、河川などの豊かな自然環境の保護や、地域に受け継がれる特徴ある伝統行事を継承するとともに、耕作放棄地の有効活用や地産地消の推進、担い手育成など、貴重な地域資源の育成に取り組みます。



○安心・安全ネットワークの構築

防災対策の取組、地域コミュニティバスの運行、配食サービスなどの支えあいの福祉活動、児童の通学や独居高齢者に対する見守り活動など、ところをつなぐ安心安全ネットワークの構築に取り組みます。

○地域の魅力発信

地域住民相互の交流事業により地域住民の生活をより楽しくするとともに、他地域との情報交換や地域資源の相互利用を通じて、地域の魅力発信に取り組みます。

6. 美旗地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

美旗地域は、市の北部に位置し市内最大の農産物供給地である農業集落地の中に、美旗駅周辺などに開発された住宅地が混在する特性を有し、近鉄大阪線や国道165号により本市の東の玄関口となっています。

また、小波田川流域やその周辺の田園風景など美しい自然景観に恵まれるとともに、県下最大級の馬塚古墳をはじめとする美旗古墳群、観阿弥創座の地、「天正伊賀の乱」の合戦場となった中世城跡（滝川城跡）、三里十八町に及び新田水路、初瀬街道の新田宿の街並など、地域全体に歴史的文化遺産が多数現存しています。

地域内に集積した優良農地では、水田農業をはじめ特産物の生産の振興を図り、高生産型農業が推進されていますが、一方では遊休農地の活用や次世代の担い手育成などの課題があります。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【地縁法人 美旗まちづくり協議会】

○人口総数 8,580人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：4,161人

・女：4,419人

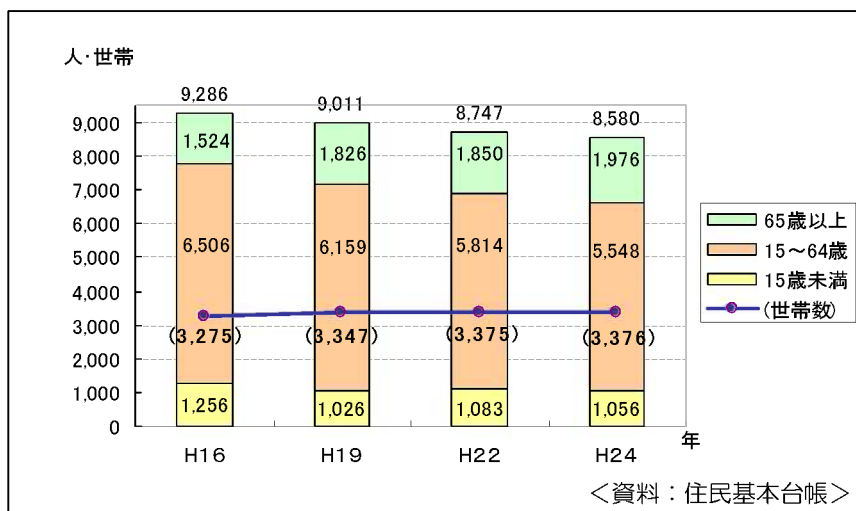
・15歳未満 : 1,056人

・15歳～65歳未満 : 5,548人

・65歳以上 : 1,976人（うち75歳以上 884人）

○世帯数 3,376世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「活力と潤いのあるまちづくり・人づくりを通じて
ひろがりのある地域を目指して」

人と人とのつながりや地域連帯の重要性を改めて認識し、「だれもがやさしい福祉のまちづくり」や「住んでよかったと実感できる活力と潤いのある地域づくり」を目指します。

《まちづくりの基本方針》

○自然と歴史が香る「史跡と文化のまちづくり」

史跡美旗古墳群や、能楽発祥の地観阿弥ふるさと公園、初瀬街道などの歴史的文化遺産や、小波田川流域をはじめとする美しい自然環境を有効的に活用し、田園・歴史・文化ミュージアム構想の具体化を進め、自然と歴史の香り高い史跡と文化のまちづくりに取り組みます。

○だれもが生きいき「安全安心のまちづくり」

防災訓練、防犯活動、交通安全などの取組や、魅力ある居住環境の構築や青少年健全育成、世代間交流などの地域活動を推進し、だれもが生きいき暮らせる安全安心のまちづくりに取り組みます。



○活力と潤いのある「産業経済活性のまちづくり」

地域内に集積した優良農地では、水田農業をはじめとして、ぶどうやメロンの特産物の生産を図るとともに、遊休農地の有効活用により市民農園を拡大し、農商工が連携した取組や地産地消のシステムづくり、担い手の育成など、産業経済活性のまちづくりに取り組みます。

○環境に優しい「資源循環型のまちづくり」

堆肥リサイクルや堆肥発熱利用、バイオ燃料の生産など、バイオマス資源を最大限に活用した環境にやさしい資源循環型のまちづくりに取り組むとともに、雇用拡大や地域ブランドの創出につなげます。

7. 比奈知地域

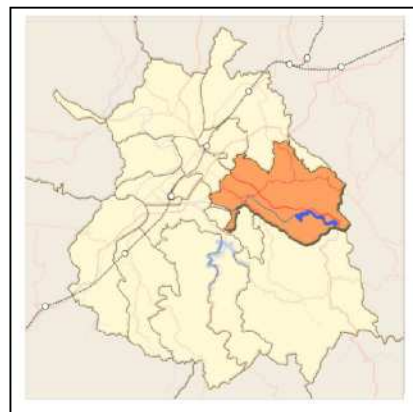
1. 地域の特徴

《現状と課題》

比奈知地域は、市の東部に位置し、古くからの農村集落と新しく開発された富貴ヶ丘住宅地で構成され、名張川やひなち湖、東山ふれあいの森など、水と緑の美しい豊かな自然に恵まれています。

国道368号や広域農道（伊賀コリドールロード）などの交通アクセスも整備され、滝之原工業団地の企業立地も進み、名張市の活力向上と雇用創出の一翼を担っています。

また、農村集落では、いくつもの歴史や伝統文化が今もなお継承されています。今後、さらに新興住宅地の新しい知恵や活力を導入・連携して交流を深め、美しい自然とともにこの貴重な地域資源を様々な観点から地域の活性化に繋げていくことがまちづくりの課題のひとつとされています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【ひなち地域ゆめづくり委員会】

○人口総数 5,123人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：2,458人

・女：2,665人

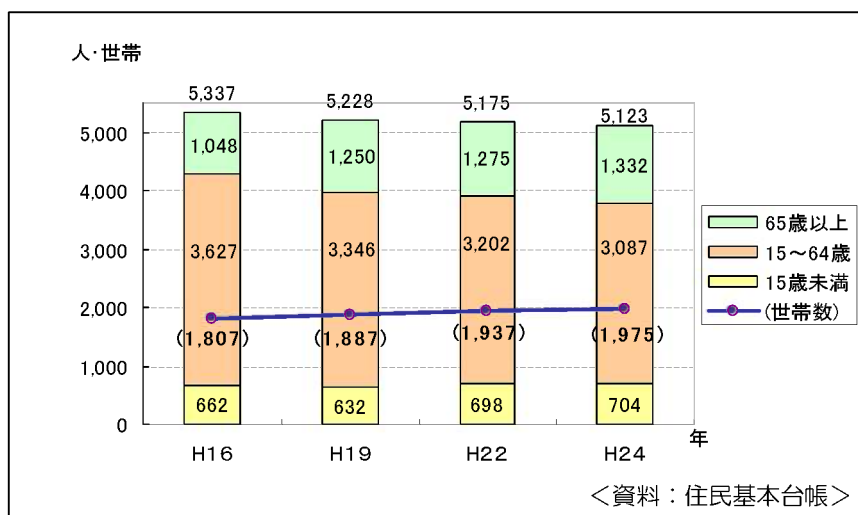
・15歳未満 : 704人

・15歳～65歳未満 : 3,087人

・65歳以上 : 1,332人（うち75歳以上 600人）

○世帯数 1,975世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「住民の視点から人権が保障され 安全・安心に暮らせる福祉の増進と生活環境の実現」

歴史文化の農村集落と新興住宅地がひとつに融合・連携し、住民が自ら考え、行動を起こし、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○自然との共生・共存による保全と活用

東山ふれあいの森の豊かな自然やひなち湖周辺の水辺空間を市民の憩いやレクリエーションの場として位置付け、その有効活用に取り組み、地域の発展につなげます。

○地域の歴史・文化の発掘、尊重と活用

伝統行事を通じた地域内交流や地域外への情報発信など、その存続と発展に向けた取組を進め、地域の活性化につなげます。

○老若男女の居場所や健康づくり等の環境づくり

世代間交流や健康づくりの場として既存施設を有効活用するとともに、高齢者の健康推進や子育て世代の応援などに取り組み、人と人、人と地域の心豊かな共助のネットワークを広げます。



○安全・安心で快適なまちづくり

生活環境の向上を図るとともに、防犯パトロールなど地域ぐるみの防犯活動や防災意識の向上の推進に取り組み、環境、景観、安全、安心、治安、防災などが充実した快適なまちづくりを進めます。

○コミュニティの拠点づくりと支え合いのまちづくり

地域全体の助け合いの仕組みの構築と福祉の拠点づくりに取り組み、世代間交流や住民の協働意識の醸成と向上を図り、住民相互に認め合い支え合う、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

8. すずらん台地域

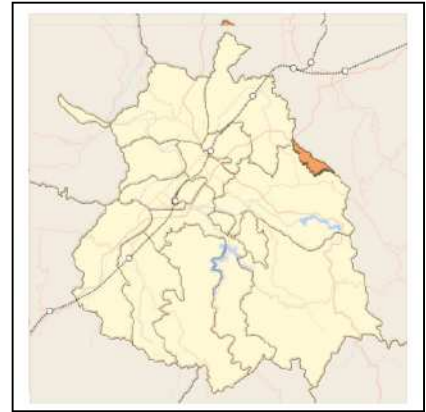
1. 地域の特徴

《現状と課題》

すずらん台地域は、計画的に整備された緑豊かな山林や里山に包まれた閑静な住宅地です。

入居が始まって30年以上が経過し、世帯数の増加に伴い地域コミュニティの成熟度が高まってきており、現在は町づくり協議会を中心に4つの自治会と諸団体の協調のもと町づくりが行われています。

しかし、鉄道駅や市の中心市街地から離れていることなどから入居率が伸び悩み、生活の利便性の向上が地域の課題となっています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【すずらん台町づくり協議会】

○人口総数 3,821人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

男：1,885人

女：1,936人

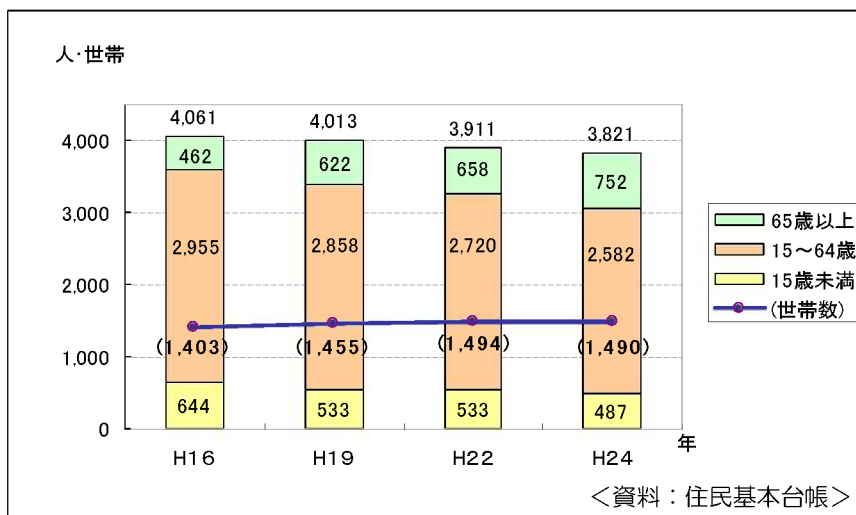
15歳未満：487人

15歳～65歳未満：2,582人

65歳以上：752人（うち75歳以上 261人）

○世帯数 1,490世帯

○年齢三区分人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「笑顔が絶えない活力のある町づくり・人づくりをめざして」

地域コミュニティを生かした交流や支え合いにより、いつも笑顔が絶えることのない、魅力的で誇りの持てる町づくりを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉の町

高齢者や障害者が地域の見守りの中で生活できるよう、地域での生活支援有償ボランティア「ライフサポートクラブ」の内容充実に取り組み、安心して暮らせる町づくりを進めます。

○公共交通などの便利な町

たまり場づくりや「サロンきずな」を拠点としたコミュニティビジネスの創出、遊休地の有効活用などにより人の往来を活発にすることで、公共交通の利便性の維持・向上を目指します。

○買い物に便利な町

「サロンきずな」での物品販売の拡充や、「ライフサポートクラブ」の買物代行、宅配、送迎など、地域の支え合いやコミュニティビジネスを通じ、日常生活における多様なサービスの提供を担う仕組みを構築し、だれもが便利に暮らせる町づくりを進めます。

○災害に強く犯罪や事故の無い安心・安全な町

防災、防犯、交通事故防止など、幅広い分野にわたる地域住民の協力体制の充実を図り、安心安全で住みよい町づくりを進めます。

○子育てがしやすく子どもたちが明るく育つ町

子育て情報の発信や市民センターを活用した子どもたちの活動場所の提供など、子どもを安心して生み育てることができ、若い世代が魅力あると感じ住んでみたいと思う町づくりを進めます。

○皆で支え合う地域コミュニティの活発な町

地域住民のふれあいや世代間交流を深め、住民相互の交流を担う生活基盤としての機能の充実を図り、皆で支え合う地域コミュニティの活発な町づくりを進めます。



9. 錦生地域

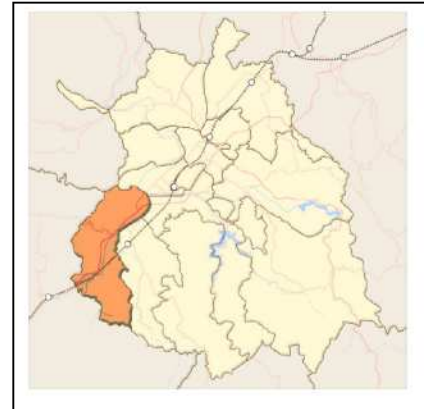
1. 地域の特徴

《現状と課題》

錦生地域は、市の西部に位置し、中央部を流れる宇陀川沿いに基盤整備された優良農地と農業集落及び地域の西側は奈良県と接し、茶臼山をはじめとする豊かな森林地帯で構成されています。

古来より、宇陀川や初瀬街道を通じ人の往来が頻繁で、現在も国道165号による三重と奈良、大阪方面を結ぶ交通の要所であり、また、赤目滝等への観光客のアクセスルートとなる名張の西の玄関口としての役割を担っています。

また、黒田庄といった地域の歴史、伝統行事や文化を有し、これらを後世に残していくため、その保存・継承していく必要があります。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【地縁法人 錦生自治協議会】

○人口総数 1,924人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男： 888人

・女：1,036人

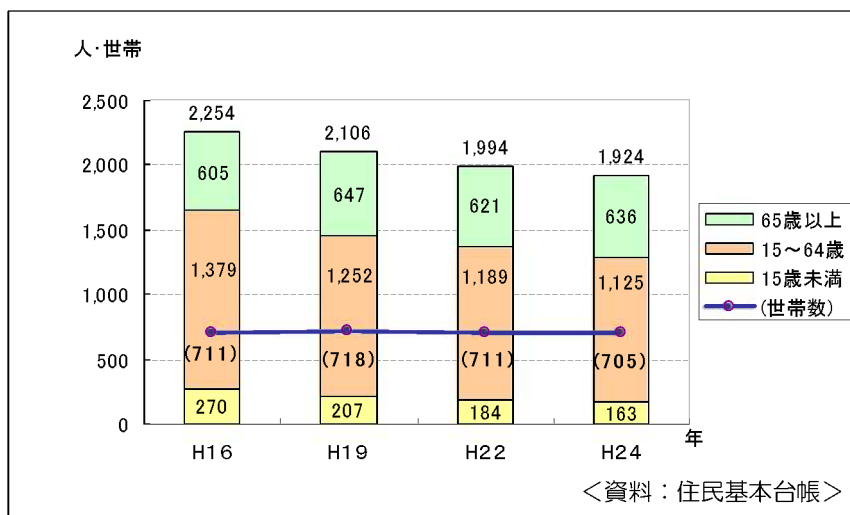
・15歳未満 : 163人

・15歳～65歳未満 : 1,125人

・65歳以上 : 636人（うち75歳以上 346人）

○世帯数 705世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「活力と潤いのあるまちづくり、人づくり」

「自分たちのまちは自分たちでつくる」の観点から、住民の思いや願いを反映し、活力と潤いのあるまちづくり、人づくりを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○自然保護と地域整備

地域住民の生活に潤いと安らぎを与え、地域住民が身近に水に触れ憩うことができるよう、遊歩道の整備や宇陀川の水辺環境を貴重な資源として有効利用し、蛍の乱舞する親水空間の創出など自然と調和した景観形成を進めます。

○史跡の保存と活用

黒田庄をはじめ地域で育まれた資源を地域共有の財産として積極的に保存・継承し、人と人のつながりの持てる文化の薫る魅力的で活力のあるまちづくりを目指します。

○地域におけるコミュニティビジネスの創出

地場産業の育成やハタケシメジなどの特産品の創出で「自主的」、「自発的」な活力を生み、地産地消の促進と地域の活性化を図ります。

○人づくりと思いやり

コミュニティバス「ほっとバス錦」の効率的かつ安定的な運営に取り組むとともに、住民の「安心」で「安全」な生活の確保に取り組むとともに、地域の高齢者がはつらつと活躍できるよう、生活の活性化を図ります。



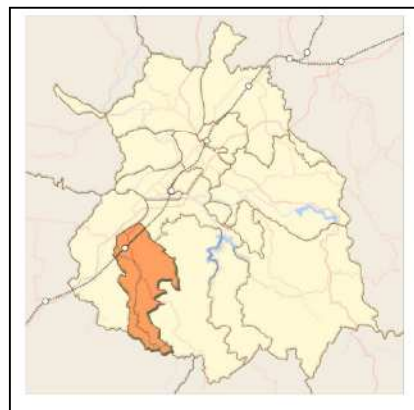
10. 赤目地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

赤目地域は、市の西南部に位置し、美しい田園風景の広がる農村集落、新川やすみれが丘などの比較的小規模な住宅地、南部の広大な森林から構成されています。また、近鉄赤目口駅は、関西方面からの名張の玄関口です。

市を代表する景勝地で多くの観光客が訪れる「平成の名水百選」にも認定された赤目四十八滝をはじめ、琴平山古墳や柏原城跡、東大寺への松明調進行事など、美しい自然や歴史、伝統文化といったさまざまな地域資源を有していますが、近年、観光客が減少傾向にあり、集客交流機能の向上が求められています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【赤目まちづくり委員会】

○人口総数 4,078人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：1,894人

・女：2,184人

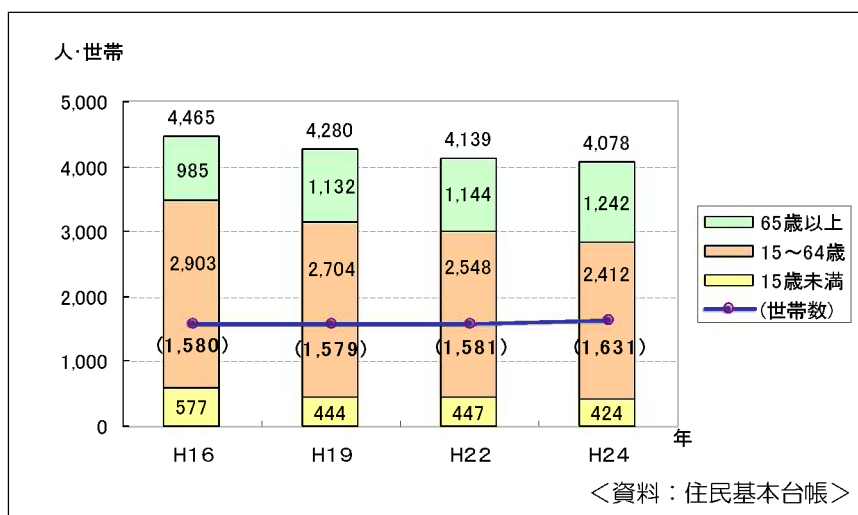
・15歳未満 : 424人

・15歳～65歳未満 : 2,412人

・65歳以上 : 1,242人（うち75歳以上 587人）

○世帯数 1,631世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「みんなで考え みんなでつくる 夢はぐくむ わがまち あかめ」

安全安心に対する取組が充実しているまちになることを期待し、まちの一層の活性化を図り住民がより快適に暮らせるまちづくりの推進を目指します。

《まちづくりの基本方針》

○歴史と文化を育む 魅力あふれる わがまち あかめ

赤目四十八滝をはじめとする美しい自然や松明調進行事などの歴史・文化を大切に、生かしながら魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、これらの地域資源を国内外に発信します。

道路整備等の計画的な取組や防犯パトロールの充実などにより、安全で快適な生活環境づくりに取り組むとともに、赤目マツタケや日の谷温泉などの地域資源を活用し、先進的な農業への取組や地場産品の直売、環境保全活動などに取り組み、農業と観光産業の連携によるコミュニティビジネスの創出につなげます。



○ともに支えあい 誰もが安心して暮らせる 笑顔あふれる わがまち あかめ

福祉のまちづくりの推進に向けて、地域住民相互の連携を保ちつつ、誰もが互いに人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」の実現を目指します。

人権の尊重を基本に、住民見守りネットワークの構築など、生涯にわたり誰もが住みなれた地域で元気で健やかな暮らしができる、人にやさしい安心のまちづくりを進めるとともに、交通不便地の解消に向け、コミュニティバス等の導入に向けた取組を進めます。

○互いに認め合い 誰もが大切にされる わきあいあいの わがまち あかめ

さまざまな人々が集まり、語り、学び、交流し合うことにより地域の一体化を図り、和気あいあいの人間味があふれ、心豊かにふれあうまちを目指します。

あいさつや交流を通じて子どもから大人までみんなで支えあう元気で明るいまちづくりに取り組むとともに、公民館活動を通じた生きがいのある「人づくり」「地域づくり」、イベントやボランティア活動などの地域活動を通じた地域の連携強化に取り組みます。



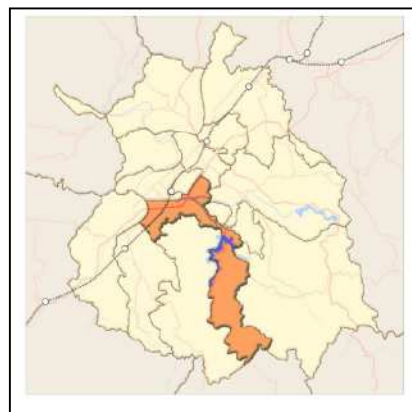
11. 箕曲地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

箕曲地域は、市の中心部から南部にかけて南北に伸びる地域で、名張川と青蓮寺川の合流部周辺から下流の宇陀川との合流部にかけて農地が広がり、農村集落が点在しています。中心部は、名張駅に近く、国道165号が通過していることから、早くから商業施設などの開発が相次ぎ、国道の沿道にはロードサイドショップが多くあります。

名張川の両岸は親水性にも配慮した河川改修が進むとともに、道路も整備され、ウォーキングなど市民の憩いの場となっています。南部にある青蓮寺ダムの上流には山村集落である中知山地区があり、その背後には広大な森林が広がっています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【箕曲地域づくり委員会】

○人口総数 3,082人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：1,562人

・女：1,520人

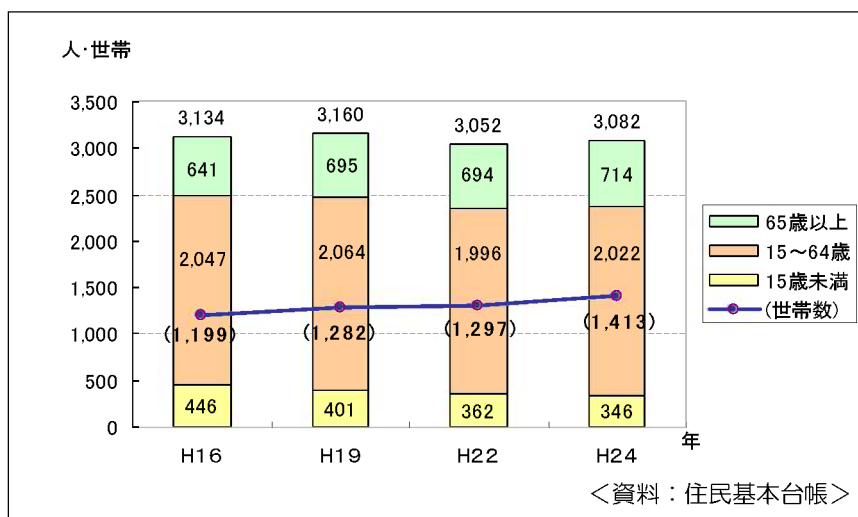
・15歳未満 : 346人

・15歳～65歳未満 : 2,022人

・65歳以上 : 714人（うち75歳以上 382人）

○世帯数 1,413世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「どこにも誰にも誇れる『住みやすさ最優秀』の創造」

生きがいをもって暮らせる明るいまち、人とのふれあい・絆を大切にするまち、暮らしを守る安心安全のまちづくりを基本とし、住民の生活や環境が充実し、ずっと住み続けたいと思える地域を目指します。

《まちづくりの基本方針》

○生きがいを持って暮らせる明るいまちづくり

高齢者が地域社会の担い手として、豊かな経験や能力を発揮でき、生きがいを持って暮らすまちづくりを目指します。また、ふるさととして誇れる豊かな自然や夏見廃寺などの文化資源の活用に取り組みます。さらに、地域経営に貢献できるコミュニティビジネスの展開を図ります。

○人とのふれあい、絆を大切にするまちづくり

古来より地域とゆかりのある『桃』をイメージコンセプトとした人とのふれあい、絆を大切にするまちづくりを目指します。また、伝統的な祭事等を通じ、地域における住民間交流を促進し、見守りや子育て支援など地域福祉の向上を図ります。

○暮らしを守る安心安全のまちづくり

住民の自主防災意識、防犯意識さらに交通安全意識の高揚を図り、地域ぐるみで自主防災体制の充実や強化、防犯ならびに交通安全活動に取り組み、人が行き交い活力あふれる安全で快適なすべての人にやさしいまちづくりを目指します。



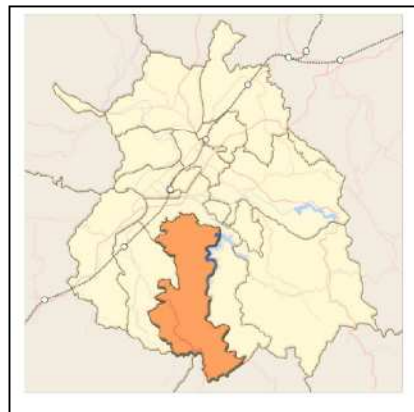
12. 百合が丘地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

百合が丘地域は、市の中心部から南部にかけて南北に伸びる地域で、ぶどうを中心とする観光農業が盛んな青蓮寺地区と、計画的に整備された大規模な住宅地である百合が丘地区・南百合が丘地区で構成されています。地域の南部には広大な森林が広がり、青蓮寺湖をはじめその上流部に位置する景勝地の香落溪など自然や観光資源に恵まれています。

このような中で、地域資源を有効活用し、安全で安心な生きがいを感じるまちづくりに取り組む必要があります。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会】

○人口総数 7,749人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：3,752人

・女：3,997人

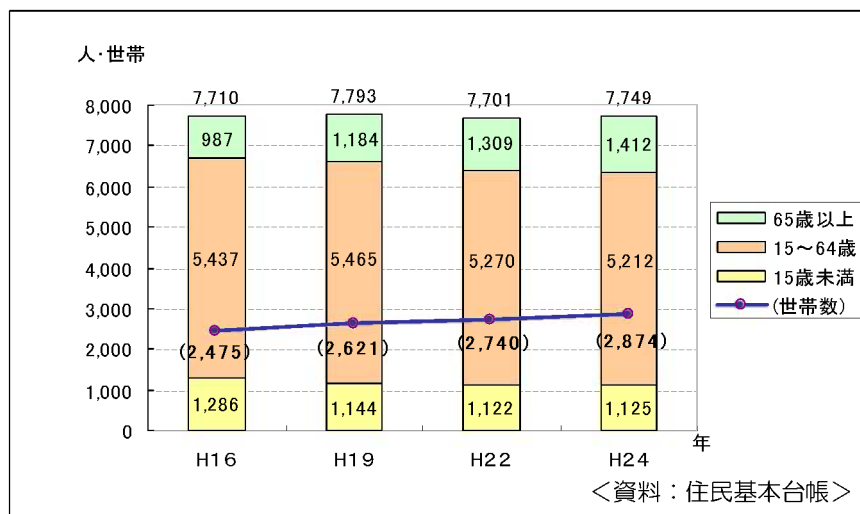
・15歳未満 : 1,125人

・15歳～65歳未満 : 5,212人

・65歳以上 : 1,412人（うち75歳以上 649人）

○世帯数 2,874世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「豊かな自然と触れ合う、安全安心で生きがいを感じるまちづくり」

香落溪や青蓮寺ダムなど水と緑の豊かな自然を地域のかげがえのない財産として、大切に守り、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりと、周辺環境に調和した人が行き交い活力あふれる、安全で快適なまちづくりを目指します。



《まちづくりの基本方針》

○活き活き交流コミュニティづくり

防災訓練を通じた地域での自主防災意識の高揚を図り、地域住民の交流促進、地域内における小学生登下校の見守りなど防犯活動の促進を図ることで安全で快適な暮らしを目指します。

○心と心の触れ合う助け合い福祉の向上

高齢者、障害者の地域での見守りや、子育てネットワークづくりに取り組み、すべての人が互いに支え合う社会の構築、地域福祉の向上を図ります。

○心安らぐ住環境づくり

豊かな自然をはじめ地域資源を保全し、青蓮寺湖周辺においてスポーツやぶどう等の観光農園など多様なレクリエーション活動を楽しむことができ、気軽に自然と触れ合うことができるような特色ある環境整備を推進するとともに、農業の健全な発展のため、地域が一体となった地産地消を進めます。また、地域特性や周辺環境との調和を図りつつ、すべての人が快適な生活ができるよう、景観形成や住環境の整備を進めます。

○人々が集い育む教育・文化

小学校等へのボランティアや校外授業に積極的に協力するなど、地域と児童の交流の場、遊びと学びの場の充実を図ります。また、サークル、文化団体等のボランティア活動、地域活動、自主的な文化芸術活動を支援するとともに、住民がいつでも気軽に各種活動に参加し、身近なところで文化芸術等に接することができる機会を拡充します。



○利便のよい住まいの場づくり

地域内の道路等について、地域まちづくり組織と連携して、事業の必要性や効率性を勘察し、取り組んでいきます。また、既存道路の安全性向上を図るため、計画的に交通安全施設等の整備や維持管理を進めます。

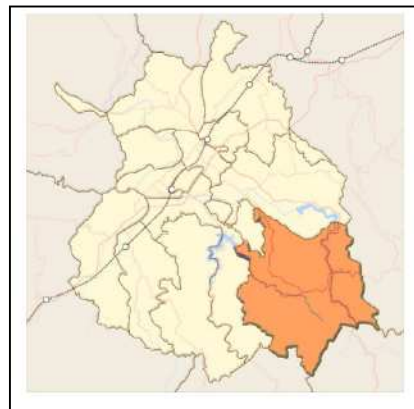
13. 国津地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

国津地域は、市の南部に位置し、山あいには点在する美しい農山村集落とその背後に抱く広大な森林、名張川上流部の川沿いに広がる農山村集落で構成されています。古くから現在の津市美杉町太郎生や伊賀市霧生地区等との人・物的な交流など密接なつながりを持つ地域でもあります。

一方、中心市街地への交通の不便さ等から人口流出が進行し、過疎化が深刻となっています。また、国津地区と長瀬地区を結ぶ道路の幅員が狭く、急勾配、急カーブも多いため、往来が難しく地域活動や活性化の弊害となっていることから、その改修が課題となっています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【国津地区地域づくり委員会】

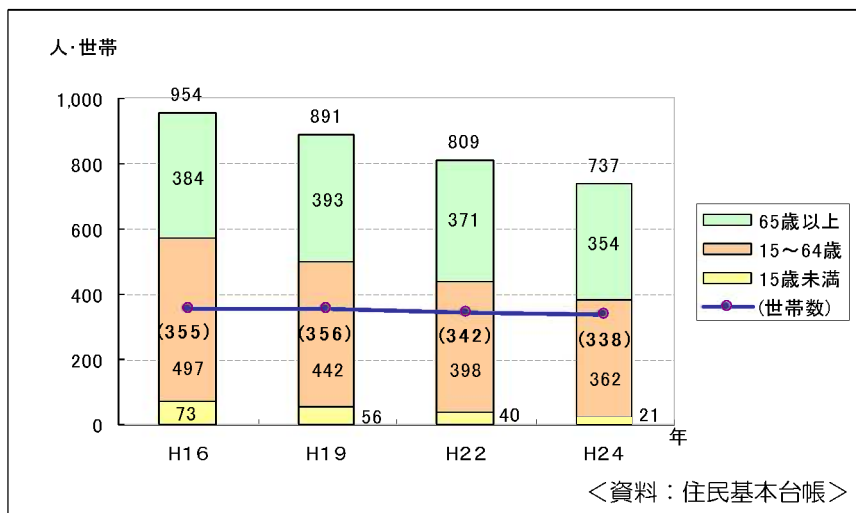
○人口総数 737人 (平成24年10月1日現在)

(内訳)

- ・男： 341人
- ・女： 396人
- ・15歳未満 : 21人
- ・15歳～65歳未満： 362人
- ・65歳以上 : 354人 (うち75歳以上 244人)

○世帯数 338世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ (各年10月1日現在)



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「山・里の豊かさを『くらし』に活かす地域づくり」

山あいには点在する美しい農山村集落があり、四季を通じて自然に恵まれています。こうした豊かな自然との共生とともに、農山村の生活環境の整備・向上や市内外の交流の場づくりの推進を目指します。

《まちづくりの基本方針》

○皆で創る地域の暮らし

高齢化が急速に進み深刻な過疎化の中で、地域住民がお互いに助け合って暮らせる仕組みづくりに取り組みます。また、住民主体の地域づくり活動が活発に展開できるよう地域づくりの新たな担い手確保や人材育成を進めます。



○安心・安全で住み良い暮らし

コミュニティバスあらかぎ号の効率的かつ安定した運営を進めるとともに、快適な交通環境を形成し若い世代も住み続けたいくなるような環境づくりに取り組みます。また、犯罪のない安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を創出し、自主防災組織の強化を図ります。

○多様な地域資源で支える暮らし

地元農産物の産地直売活動や農産物の加工といったコミュニティビジネスの仕組みづくりを進めるとともに豊かな資源を活用した、木材、加工品、特産品、エネルギー等の地産地消の活動や共生的な経済活動を進めます。

○元気で誇りのある暮らし

高齢者の豊かな経験や知識を生かすことのできる仕組みづくりを促進し、生き甲斐を持ちながら社会に参画できる「生涯現役の社会づくり」を整備します。また、公民館を活用した世代交流行事、趣味やサークル活動など地域を学ぶ機会を提供し、地域愛を醸成するとともに地域の「誇り」づくりを進めます。

○新しい仲間と共に創る暮らし

地域の多様な魅力を情報発信することにより地域への理解を高めていくとともに、都市住民や団塊の世代が住んで良かったといえる「定年帰村」の受け入れ体制の充実を図ります。また、「はぐくみ工房あらかぎ」を拠点とした森林資源を活用した体験学習の機会を充実するとともに、市内外との地域間交流を促進します。

14. 桔梗が丘地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

桔梗が丘地域は、市の中部に位置し、近鉄桔梗が丘駅を中心に計画的に整備された大規模な住宅地で、入居から40年を経過する地区と、現在も入居が進んでいる新しい地区があります。入居開始から長い年月を経過している地区では、成熟度の高いコミュニティが形成されていますが、少子高齢化が進んでおり、一方、新しい地区では、年齢層が若いもののコミュニティの成熟度を高める必要があります。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【桔梗が丘自治連合協議会】

○人口総数 13,946人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：6,649人

・女：7,297人

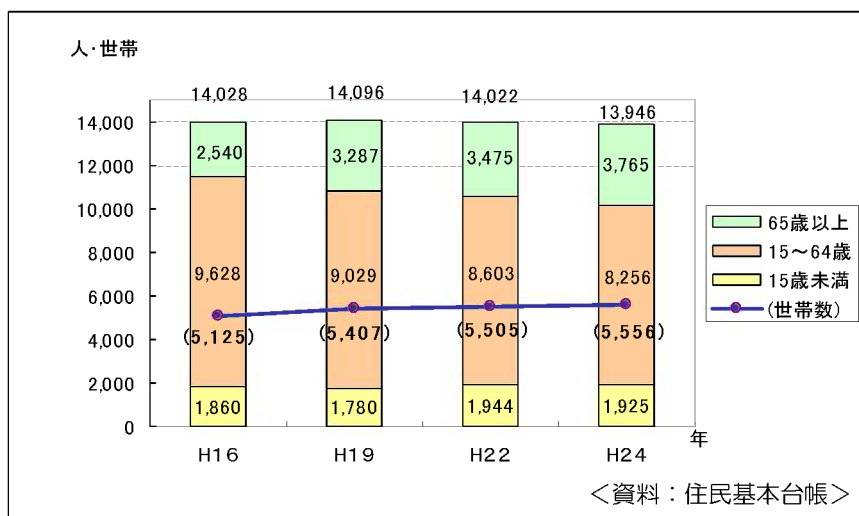
・15歳未満 : 1,925人

・15歳～65歳未満 : 8,256人

・65歳以上 : 3,765人（うち75歳以上 1,504人）

○世帯数 5,556世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち” 桔梗が丘」

人がいきいきと輝き、互いを思いやり、支え合い、自分らしさを出せるよう、「人づくり」や「絆づくり」を大切にして、住み良さが実感できる“ほっとまち” 桔梗が丘を創ります。

《まちづくりの基本方針》

○元気・賑わい“ほっとまち”

誰もが元気で暮らし、人が行き交い、集う活気のある街並みや居場所をつくり、元気・賑わいが感じられるまちを創ります。

○安心・安全“ほっとまち”

地域ぐるみでの助け合いの社会や安らぎのある快適な暮らしのなかで、安心・安全が感じられるまちを創ります。

○生きがい・健康“ほっとまち”

スポーツ、文化・芸術活動など余暇の充実やボランティア活動で自分らしい生きがいを見つけ、健やかに暮らせる地域社会をつくり、生きがい・健康が感じられるまちを創ります。

○緑・環境“ほっとまち”

自然を大切にし、街なかの緑、きれいな街並みを持続させ、環境に関心を持った暮らしを通じて、緑・環境が感じられるまちを創ります。

○子ども・未来“ほっとまち”

子どもたちが健やかに育ち、権利が守られ、知・徳・体の向上により、子ども・未来が感じられるまちを創ります。

○自律・規範“ほっとまち”

近所づきあい、地域活動を通じて地域への愛着を深め、社会のルールに従い、自分らしさを出せる暮らしのなかで、自律・規範が感じられるまちを創ります。

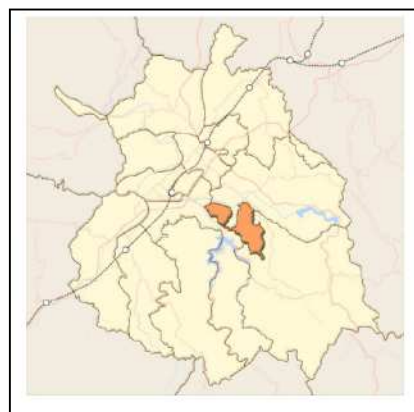


15. つつじが丘地域

1. 地域の特徴

《現状と課題》

つつじが丘地域は、つつじが丘地区と春日丘地区で構成されています。いずれも計画的に整備された大規模な住宅地で、人口が1万1千人を超え、桔梗が丘地域に次ぐ人口規模となっています。地域の南東に接する国津地域と公共施設の相互利用や地域づくりの分野をはじめ、さまざまな面で交流・連携を進め、住民の心豊かな暮らしを創造する取組を行っています。



《地域の概要、データ》

○地域づくり組織名称 【つつじが丘・春日丘自治協議会】

○人口総数 11,335人（平成24年10月1日現在）

（内訳）

・男：5,495人

・女：5,840人

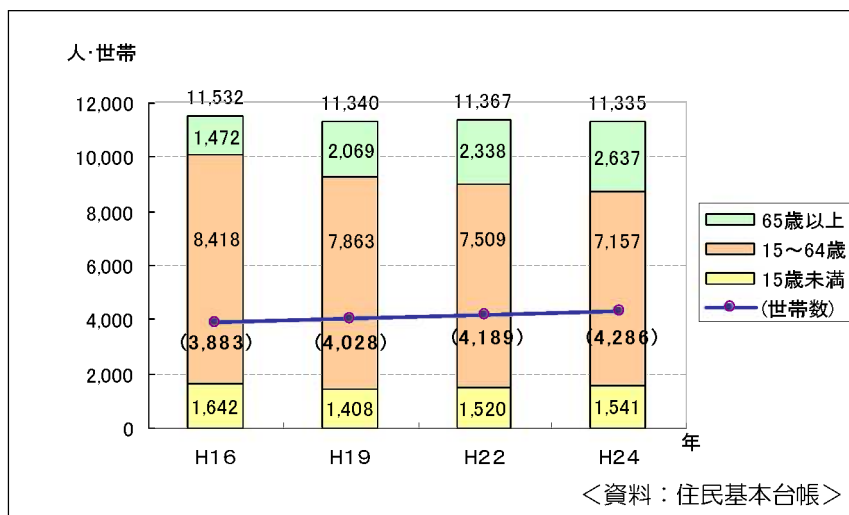
・15歳未満 : 1,541人

・15歳～65歳未満 : 7,157人

・65歳以上 : 2,637人（うち75歳以上 837人）

○世帯数 4,286世帯

○年齢三区分別人口・世帯数推移グラフ（各年10月1日現在）



2. まちづくりの方針

《まちづくりの将来像》

「このまちにずっと～といたい！
～ 誰もが胸をはって住みたくなるまちづくり ～ 」

地理的な特性や自然、歴史・文化及び豊富な人材等の地域資源を有効に活用し、様々な課題（問題）の解決を図り、このまちにずっと住み続けたいと思えるより良いまちづくりを目指します。

《まちづくりの基本方針》

○安心・安全で生きがいを持って暮らせるまちづくり

誰もが安心して暮らせるように資源を生かした緑空間や歩行空間の整備、公園等の管理など快適な環境づくりに取り組みます。また、医療や地域福祉を充実させ、高齢者、障害者が生きがいを感じられるよう取り組みます。

○子どもたちを心豊かに育むまちづくり

共働き世帯の増加など、子育て環境が大きく変化する中で、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進します。また、家庭、地域、学校が連携して子どもが心豊かに成長できるよう各種取組を推進します。

○生活環境・マナーを推進するまちづくり

迷惑駐車をなくし、安全で快適な道路環境を確保するとともに、交通安全運動を展開し、交通マナーの向上を図ります。また、ごみのポイ捨て防止などマナーやモラルの向上を図り清楚で美しいまちづくりを進めます。

○心の交流を生み出す文化を核としたまちづくり

文化芸術活動の振興を図るとともに、魅力ある地域に密着した文化の創造による生きがいとゆとりに満ちた暮らしが実現できるように取り組みます。また、地域団体等と協働し、地域における優れた文化・知識の発掘やネットワークづくりを進めます。



参考資料

地域まちづくり活動の経過

年度	摘 要
2003 (H15)	◆ 第1ステージ
	4月 「名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」施行
	9月 全14地域で地域づくり委員会結成
	10月 公民館の地域委託が2館でスタート
	11月 「名張市地域づくり協議会」を設置
	2月 名張市地域づくり協議会「事業中間報告会」を開催
2004 (H16)	1月 名張市地域づくり協議会「実践交流会分科会」を開催
2005 (H17)	6月 「名張市自治基本条例」を制定
	10月 全14公民館の地域委託が完了
	1月 「名張市自治基本条例」施行
	2月 名張市地域づくり協議会「実践交流会分科会」を開催
2006 (H18)	4月 市民活動保険制度を導入
	9月 14公民館の管理委託を指定管理者制度に移行
2007 (H19)	4月 名張市政策アドバイザーにまちづくりに関する政策提言を依頼
	9月 名張市政策アドバイザーから中間報告
	2月 名張市地域づくり協議会「実践交流会」を開催
	3月 名張市政策アドバイザーから最終報告「都市内分権の推進について」
2008 (H20)	4～10月 市区長会、地域づくり協議会で地域組織の見直しを協議
	11～2月 「地域組織の見直し」素案により地域説明会を実施
	2月 名張市地域づくり協議会「実践交流会（分科会）」をワールドカフェ方式にて開催（三重県共催）
2009 (H21)	◆ 第2ステージ
	4月 「名張市地域づくり組織条例」施行（地域交付金条例と区長設置規則を廃止）
	5月 地域担当職員制度実施（地域振興推進チーム制度を廃止）1地域管理職2名を配置し、地域ビジョン策定支援にあたる
	9～12月 隠（なばり）元気まち仕掛け人塾を開催（官民パートナーシップ支援事業）
2010 (H22)	4月 市民活動保険制度を「市民活動補償制度」に見直し
	5月 「鴻之台希央台地域」で15番目の地域づくり組織が設立
2011 (H23)	地域経営に関して、組織・機構を見直し ・ゆめづくり地域予算制度の一部見直し ・ゆめづくり協働事業提案制度の検討 等
	3月 15地域「地域ビジョン」を策定
2012 (H24)	◆ 第3ステージ
	4月 「地域部」を設置 ・地域担当監（地域別専任スタッフ3名）を配置（地域担当職員制度廃止） ・公民館の管理運営について、教育委員会の事務を地域部で補助執行することとなる ・地域ビジョン実現に向け、「ゆめづくり協働事業提案制度」がスタート

地域づくり組織の事務所一覧表

地域名	地域づくり組織名	(※設置年月日)	事務所の所在地		
		設置年月日	公民館等名	住所	電話番号
名 張	名張地区 まちづくり推進協議会	(H15. 6. 29)	名張公民館	上八町1321-1	64-2605
		H21. 5. 17			
鴻之台 希央台	中央ゆめづくり協議会	H22. 5. 23	名張市防災センター (中央ゆめづくり館)	鴻之台1-2	64-6755
蔵 持	蔵持地区 まちづくり委員会	(H15. 4. 1)	蔵持公民館	蔵持町原出 314-3	63-0235
		H21. 5. 17			
梅が丘	川西・梅が丘 地域づくり委員会	(H15. 7. 27)	梅が丘市民センター	梅が丘南5-184	61-2855
		H21. 8. 2			
薦 原	薦原地域づくり委員会	(H15. 7. 26)	薦原公民館	薦生1607	63-1800
		H21. 5. 23			
美 旗	地縁法人 美旗まちづくり協議会	(H15. 8. 31)	美旗市民センター	美旗町南西原 229-3	65-3007
		H21. 6. 27			
比奈知	ひなち地域 ゆめづくり委員会	(H15. 9. 25)	比奈知公民館	下比奈知1768	68-1101
		H21. 5. 10			
すずらん台	すずらん台 町づくり協議会	(H15. 8. 31)	すずらん台 市民センター	すずらん台 東3-220	68-1007
		H21. 4. 26			
錦 生	地縁法人 錦生自治協議会	(H15. 6. 28)	錦生公民館	安部田2118	63-0252
		H21. 5. 24			
赤 目	赤目まちづくり委員会	(H15. 6. 1)	赤目公民館	赤目町丈六 238-1	63-0329
		H21. 6. 21			
箕 曲	箕曲地域づくり委員会	(H15. 8. 10)	箕曲公民館	夏見215	63-0453
		H21. 5. 16			
百合が丘	一般社団法人 青蓮寺・百合が丘 地域づくり協議会	(H15. 4. 1)	百合が丘 市民センター	百合が丘 西5-13	64-6466
		(H18. 4. 1再)			
		H21. 6. 28			
国 津	国津地区 地域づくり委員会	(H15. 8. 31)	国津公民館	神屋814-4	69-1001
		H21. 4. 19			
桔梗が丘	桔梗が丘 自治連合協議会	(H15. 9. 6)	桔梗が丘公民館	桔梗が丘 6-1-131-4	65-1206
		H21. 11. 14			
つつじが丘	つつじが丘・春日丘 自治協議会	(H15. 6. 28)	つつじが丘公民館	つつじが丘 北5-73-2	68-1236
		(H17. 8. 20再)			
		H21. 4. 26			

※カッコ内は、旧条例(名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例)に基づく「地域づくり委員会」を設置した年月日



名張市企画財政部総合企画政策室

〒518-0492 三重県名張市鴻之台1番町1番地
TEL 0595-63-7389 FAX 0595-64-2560

[ホームページ] <http://www.city.nabari.lg.jp>
[Eメールアドレス] kikaku@city.nabari.mie.jp